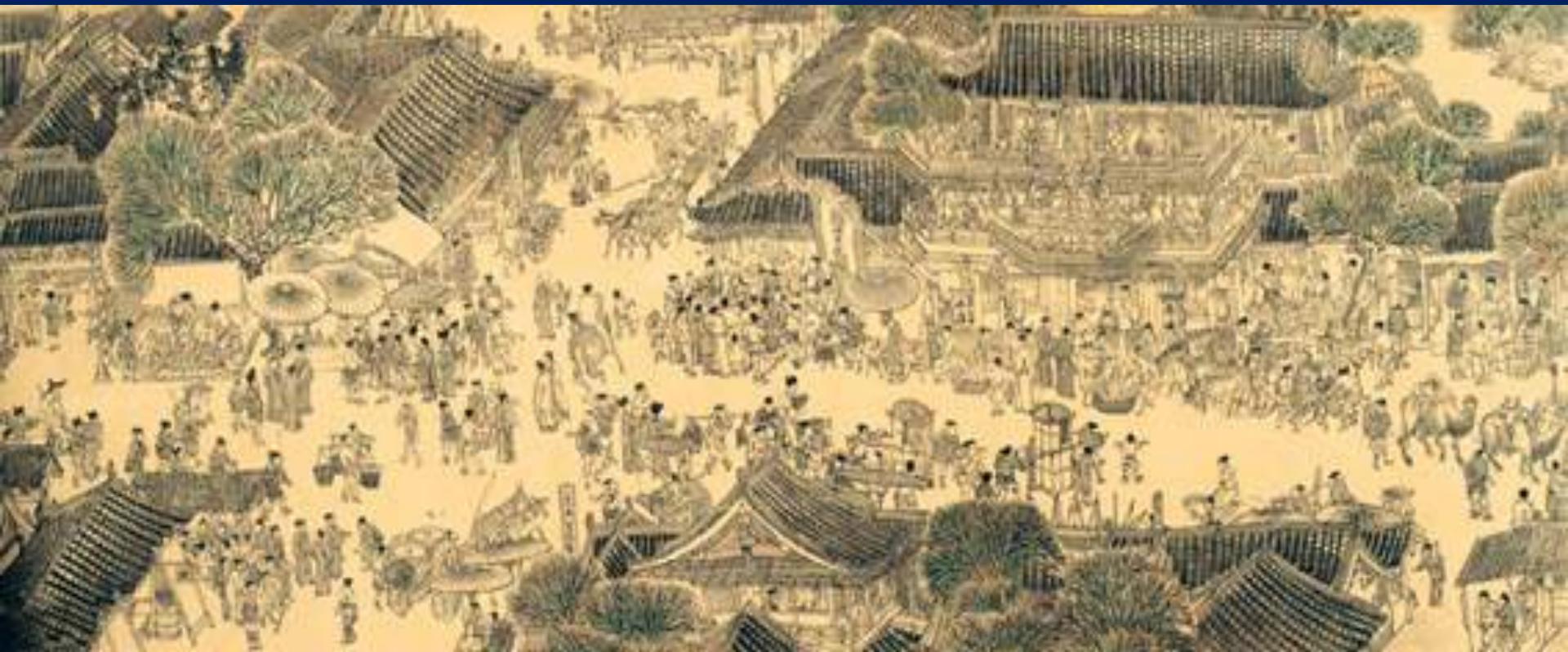


認知症の漢方治療

補腎と活血と理気
三焦漢法と三焦鍼法

未病の認識は古代から



中国医学の経典

五千年前系統医学完成

『黄帝内经』 等七経

『神農本草経』

二千年前の漢朝

『傷寒論』—漢方の確立



未病治療方針

- ①未病先防（病気になる前にまず予防する）
- ②既病防変（病気になっても重くならないように積極的に治療をする）
- ③病後防復（病気が治っても再発を予防する）

9の未病の体質の鑑別

- ①正常体質：健康の方
- ②特異体質：アレルギー体質
- ③陽虚体質：冷え性
- ④気虚体質：疲れやすい、免疫力が低い
- ⑤血虚体質：立ちくらみ、低血圧、不眠
- ⑥陰虚体質：口渇、肌荒れ、盗汗、便秘
- ⑦痰湿体質：肥満、
- ⑧於血体質：肩こり、生理痛
- ⑨気鬱体質：憂鬱、イライラ

未病の体質を改善する漢方—認知症の治療

基本的には陽虚—補陽（附子、桂皮、生姜など）

陰虚—補陰（地黄、麦門冬、天門冬など）

気虚—補気（人参、黄耆など）

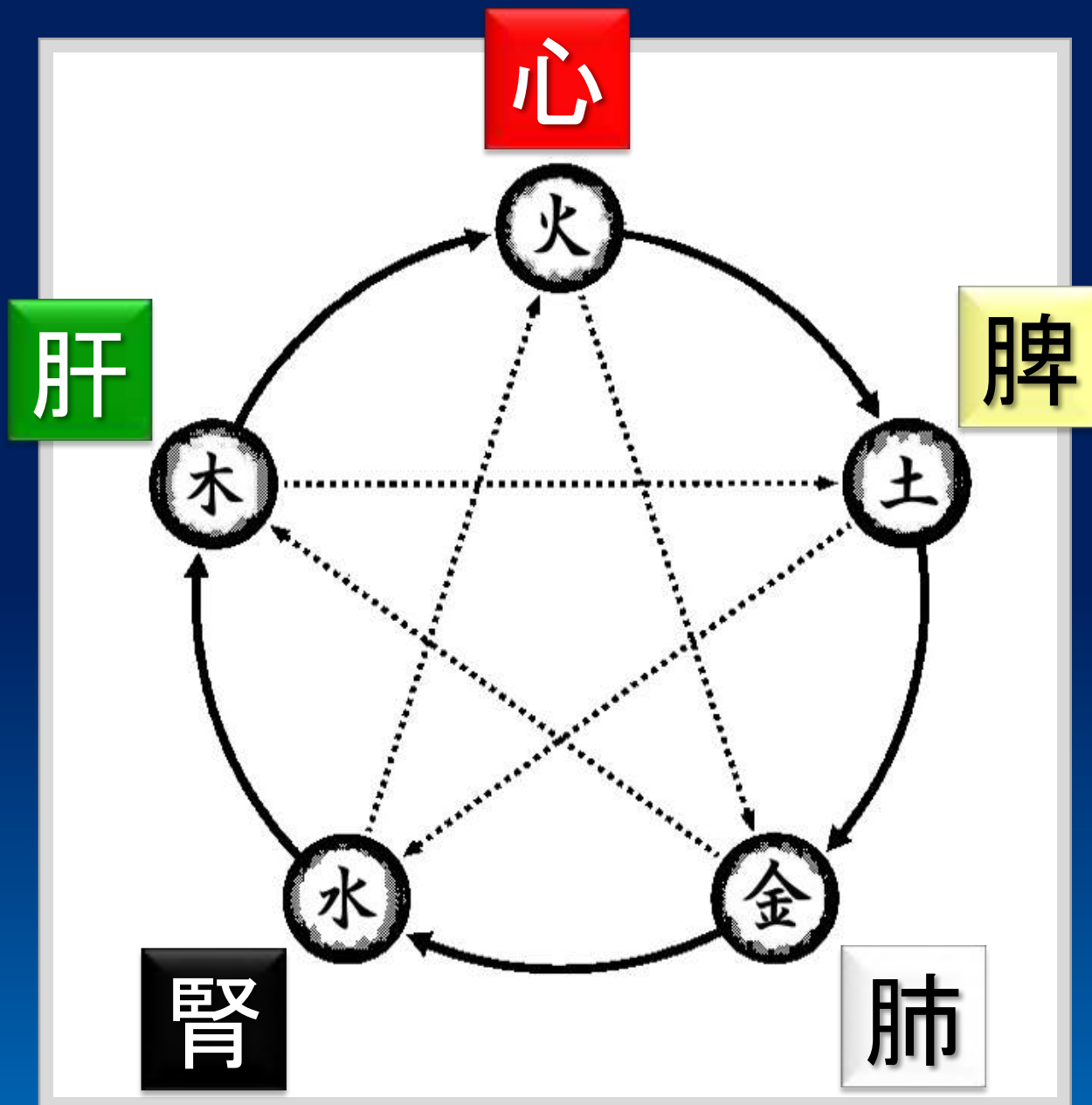
血虚—補血（大棗、阿膠、龍眼肉など）

痰湿—祛痰化湿（陳皮、半夏、カロウコンなど）

瘀血—活血化瘀（桃仁、紅花、丹参など）

気鬱—理気（カッコウ、香附子、枳実、陳皮など）

五臟



五臓六腑の要は腎



腎は脳を主る

精神、記憶力

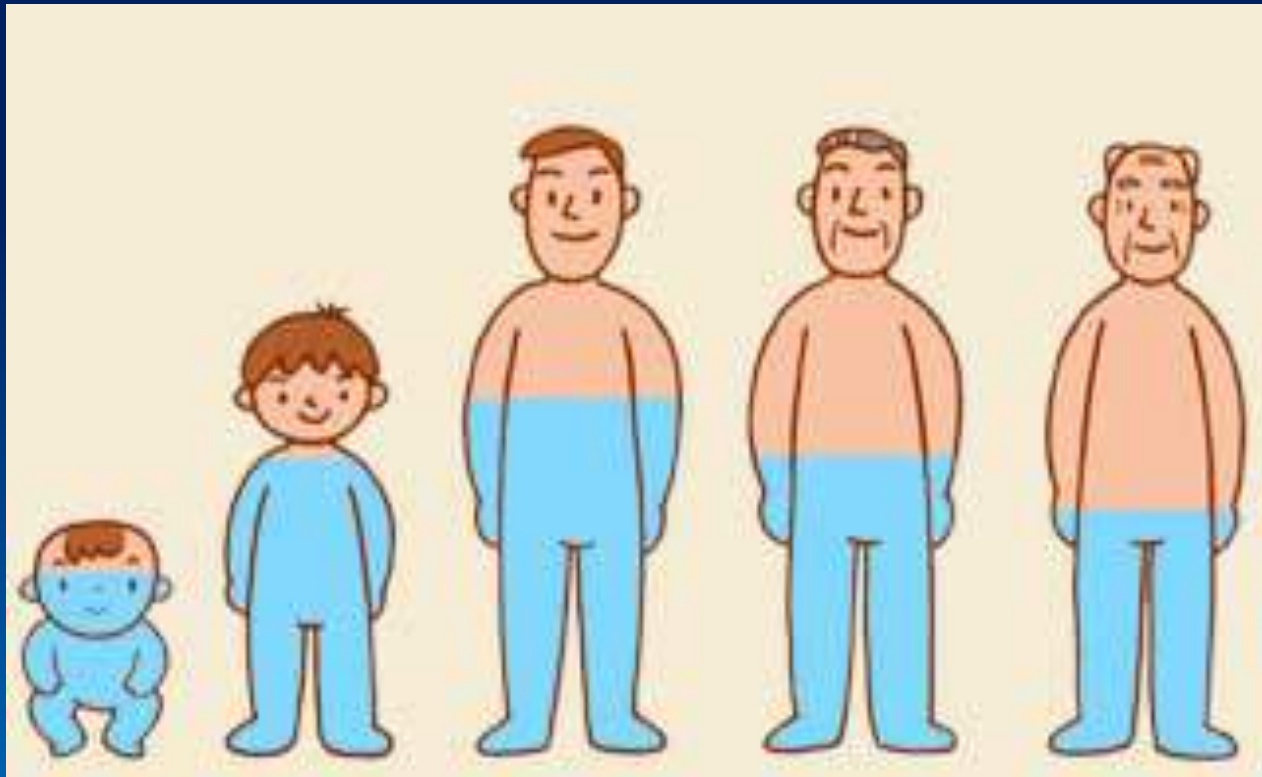
健忘、呆け

老年性痴呆症



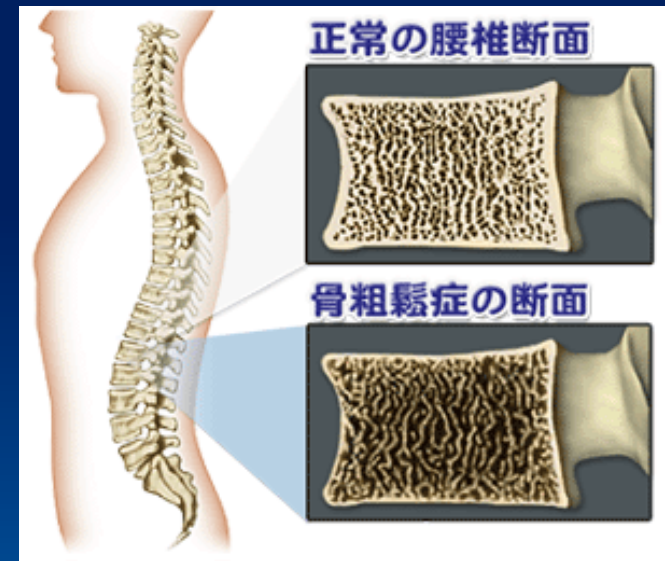
腎は水を主る

加齢と共に、体内水分が減少、口渇



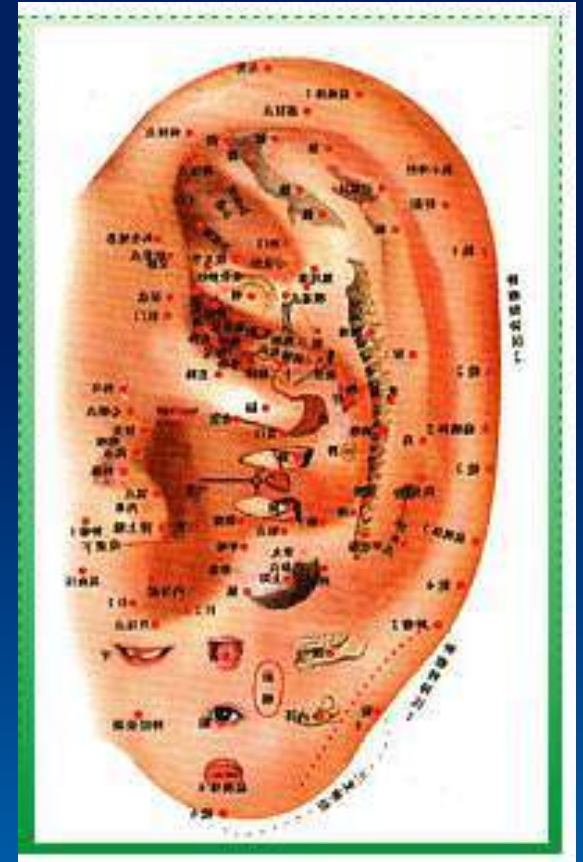
腎は骨を主る

- ビタミンDは腎臓で活性化して、Caの吸収に働く
- 骨粗鬆症、リウマチ変形性関節炎



腎は耳に開竅する

腎の虚弱
耳鳴り、難聴
眼精疲労、白内障



老年症候群

加齢に伴う心身機能の衰えによる身体的、精神的な諸症状、疾患の総称（物忘れ、不眠症、不安神経症、うつ病、認知症、耳鳴り、難聴、目の不自由、筋肉の衰え、関節変形、食欲不振、排泄障害）内科、外科、精神科の病気も含まれています。

中医学には腎虚と深い関係があると認識しています。
腎は老化と寿命と関係しています。

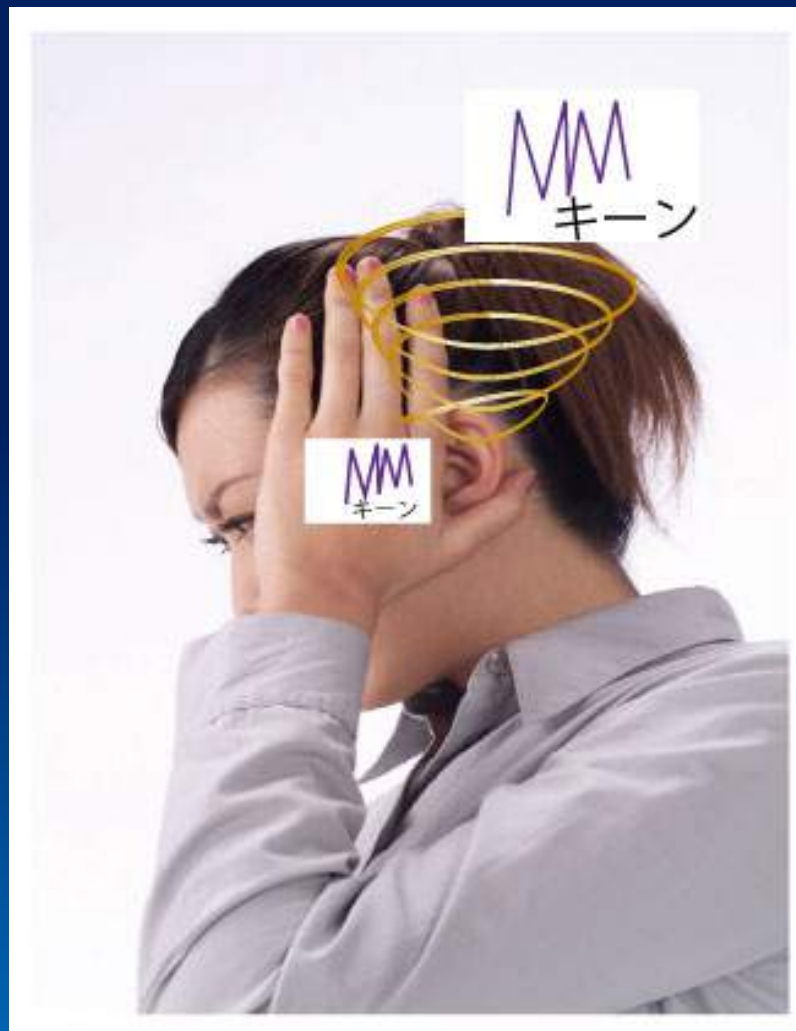
腎虚による老年症候群の発生

老年症候群の症状	
急性疾患症状	めまい、息切れ、胸水・腹水、腹痛、頭痛、意識障害、不眠、転倒、骨折、低体温、吐血、下痢、下血など
慢性疾患症状	認知症、しびれ、骨関節変形、視力低下、関節痛、腰痛、喘鳴、食欲不振、便秘、言語障害、体重減少など
廃用症候群	ADL低下、骨粗鬆症、椎体骨折、嚥下困難、尿失禁、せん妄、抑うつ、難聴、貧血、低栄養、不整脈など

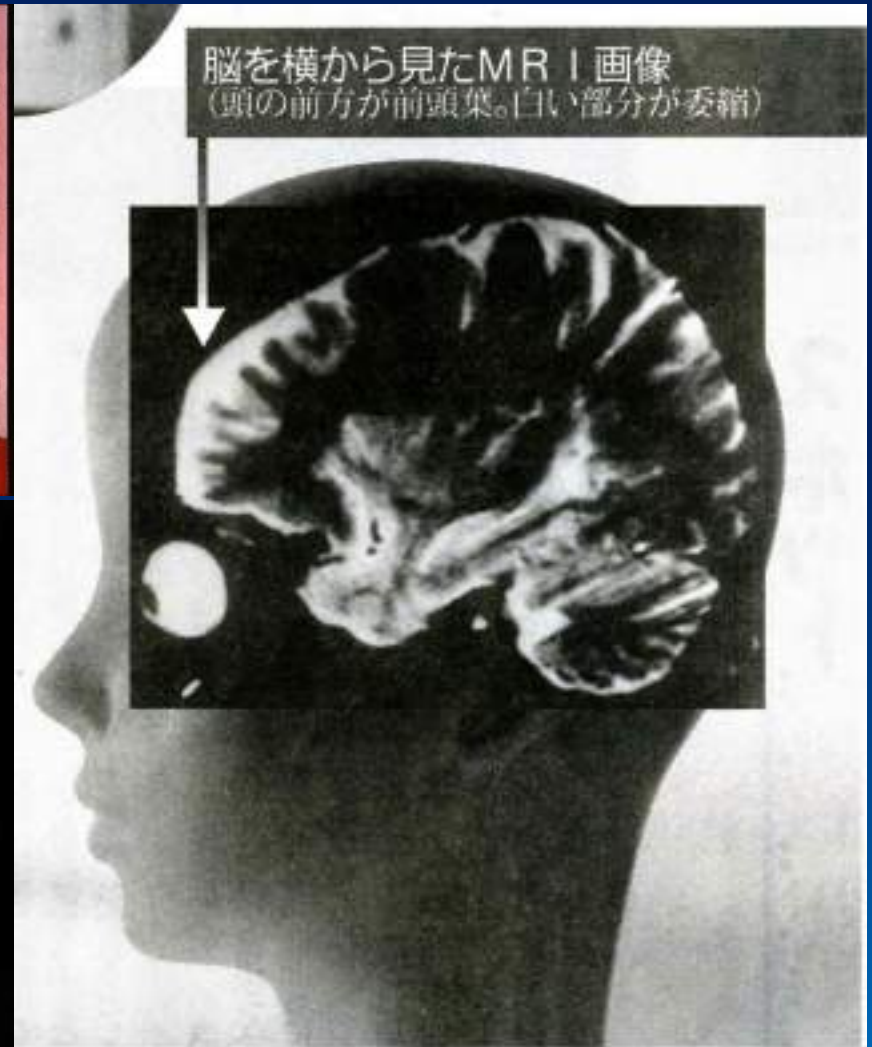
📌 老年症候群による悪循環



耳鳴りと難聴



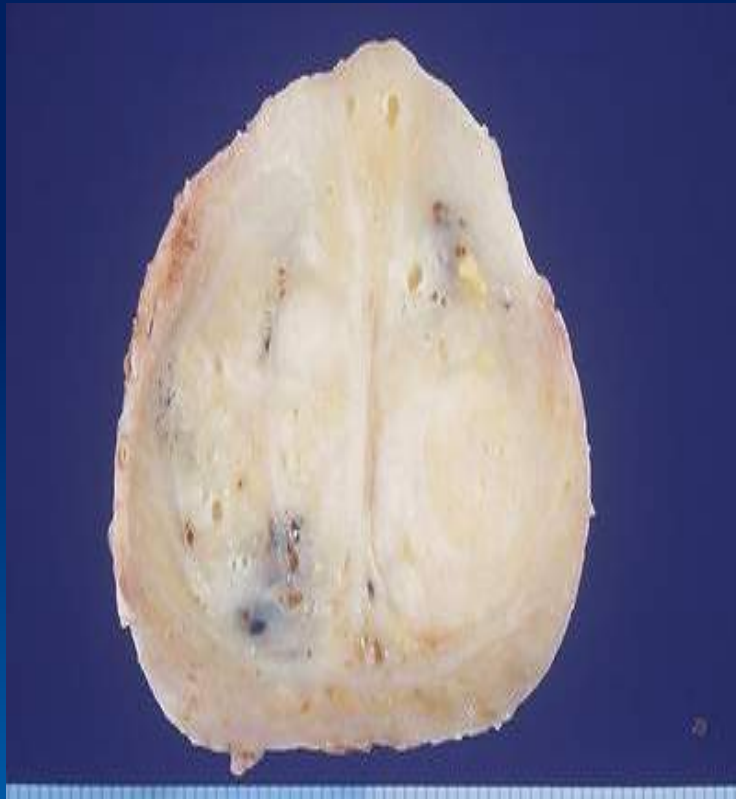
物忘れ（MCI）



認知症



頻尿と夜間尿



漢方生薬



認知症によく使う生薬

理気（陳皮、厚朴、薄荷、香附子）

活血（桃仁、紅花、当帰、芍薬、川キュウ）

疎肝（柴胡、ウコン）

健脾（白術、山薬、百合、蓮肉）

補腎（地黄、女貞子、黄精、玄参、天門冬、）

温陽（修治附子、桂皮）

補腎＝認知症予防

腎虚による老化

認知症の弁証論治

基本的な弁証は腎（陰、陽）虚—補腎

脾虚—健脾

肝鬱—疎肝

六味地黄丸、八味地黄丸、牛車腎気丸、
抑肝散、抑肝散加陳皮半夏、加味帰脾湯、
柴胡加竜骨牡蛎湯、甘麦大棗湯、当帰芍薬散

認知症の漢方

抑肝散加陳皮半夏（周辺症状の改善）



半夏5 蒼朮4 茯苓4 川芎3 釣藤釣3 陳皮3 当帰3 柴胡2 甘草1.5

耳鳴り・目の症状

枸杞子・菊花+牛車腎気丸



水溶性アントシアニン成分



ルテイン

腎虚を補う
漢方薬

「腎虚」とは

原末 牛車腎気丸

東洋医学で「腎」は腎臓のことだけでなく、「活力・生命力の源」のことも含めて「腎」と言います。誰でも年齢を重ねるにつれ、体の機能に衰えが生じます。加齢や心身の疲れにより「活力・生命力の源」が弱ったり衰えたりすることを「腎虚」と言います。加齢による身体の変化を緩やかにする知恵が東洋医学にあります。

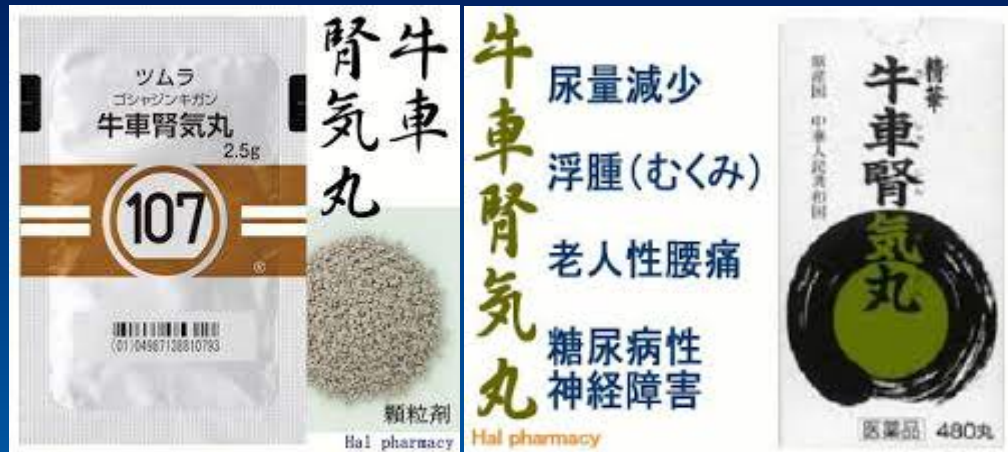
痛み・痺れ・腰痛

牛車腎気丸（八味地黄丸+牛膝、車前子）

八味地黄丸：補腎方剤

地黄、山茱萸、山薬、茯苓、牡丹皮、沢瀉、附子、桂皮

引経薬：牛膝、利水薬：車前子



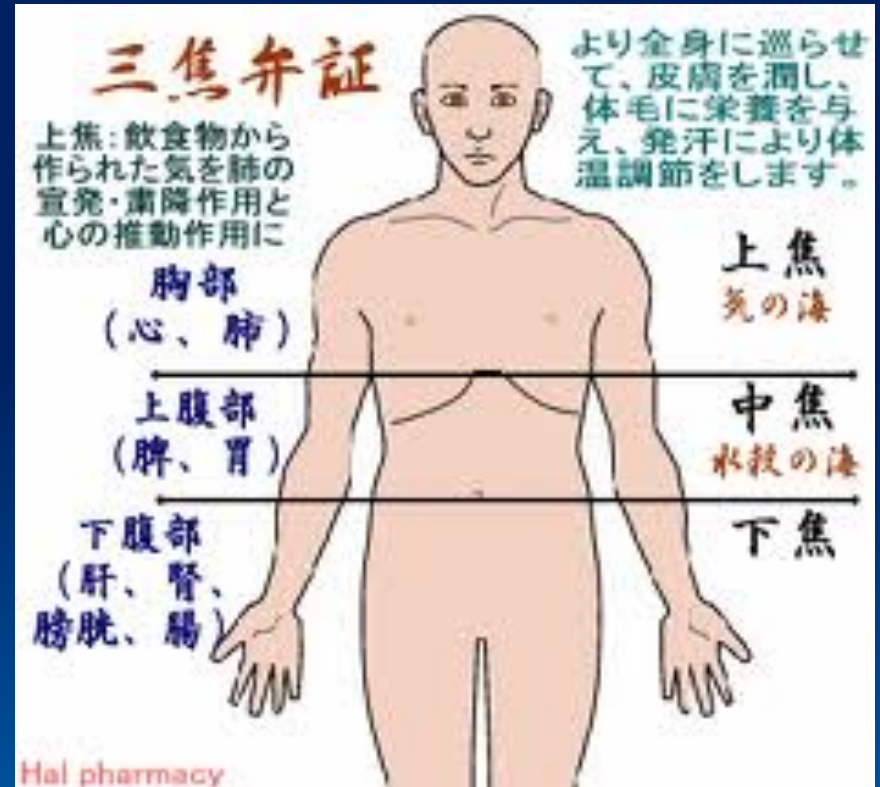
三焦弁証

上焦：心、肺

中焦：脾、胃

下焦：肝、腎

三焦のアンバランスは認知症の原因



新宿漢方クリニックの三焦漢法

上焦：釣藤、川芎（活血）

中焦：茯苓、山藥、倉術、半夏（健脾養胃）

下焦：六味地黄丸中心（補腎）

理気：陳皮、カッ香、益智（ストレス解消）

補気血：大棗、龍眼肉（体力補う）

安神：遠志（安眠作用）

三焦鍼法

気血の調節で認知症を治療する

足三里、気海、血海、外関、中脘、膻中

時には百会、四神聡、三陰交、聴宮、聴会などを加える



まとめ

認知症の発症はいろいろな原因があります、老化に関係があります、三焦弁証で漢方薬の積極的治療に勧めます、補腎、活血、理気、補気血、補脾胃という治療は新宿漢方クリニックは実現しています。腎と老化：老年症候群の原因は腎虚、年齢とともに衰え、脳、骨、排せつ、耳、目、呼吸などの症状が出ます。治療には補腎、漢方薬処方：六味地黄丸、牛車腎気丸などがあります。

認知症は五臓六腑のアンバランスを治療する
三焦漢法+三焦鍼法